

令和7年度東部地区地域学校協働活動実践発表会

1 概要

①日 時 令和7年11月26日（水）14時00分～16時15分（受付13時20分～）

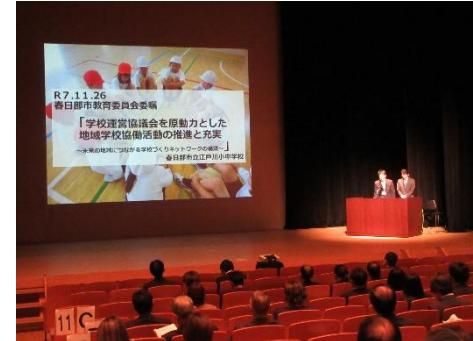
②会 場 蓮田市総合文化会館 ハストピア どきどきホール

※欠席者対応のためのオンライン配信に向けた動画を撮影

③内 容

○実践発表

発表団体	・春日部市教育委員会 ・春日部市立江戸川小中学校
テーマ	学校運営協議会を原動力とした 地域学校協働活動の推進と充実 ～未来の地域につながる学校づくりネットワークの構築～



○協議及び意見交換

・小グループに分かれて「地域学校協働活動」に関する協議及び意見交換

協議テーマ

「学校運営協議会及び地域学校協働活動に関する取組の実態と課題について」

【協議Ⅰ グループ】

教職員同士・地域の方々同士のグループ

【協議Ⅱ グループ】

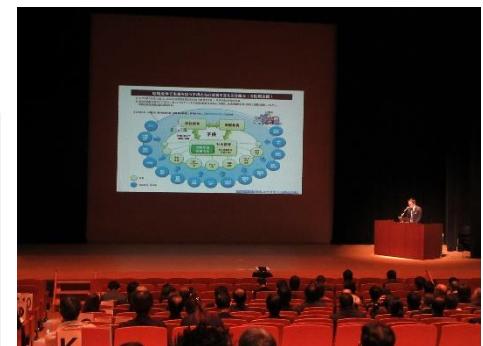
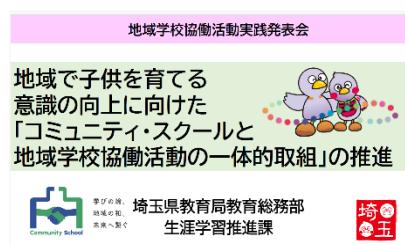
教職員と地域の方々の混合グループ



○指導講評

・埼玉県教育局教育総務部生涯学習推進課地域連携担当

社会教育主事兼指導主事 渡辺 充範



④参加者

○全出席者数 203名(参加者175名+地域学校協働活動担当者会議委員28名)

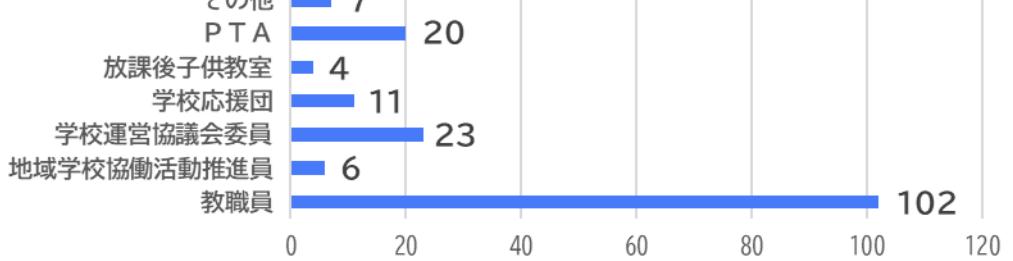
※学校番号偶数校及び義務教育学校(後期課程)の教職員及び地域学校協働活動に携わる保護者
やコーディネーター等

※欠席者については、事前に連絡してもらうよう通知文に記載した。保護者等の当日欠席が多く、
市町教育委員会の担当者に協力いただき、欠席連絡をお願いした。

2 成果と課題【参加者アンケート結果より】…回収率84.6%(148名/175名)

①所属等

※複数回答可

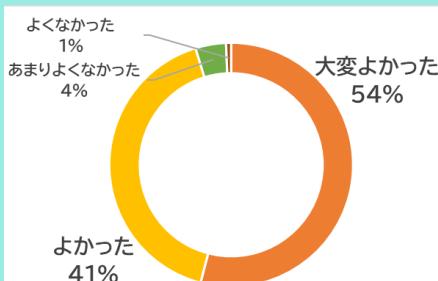


②実践発表について



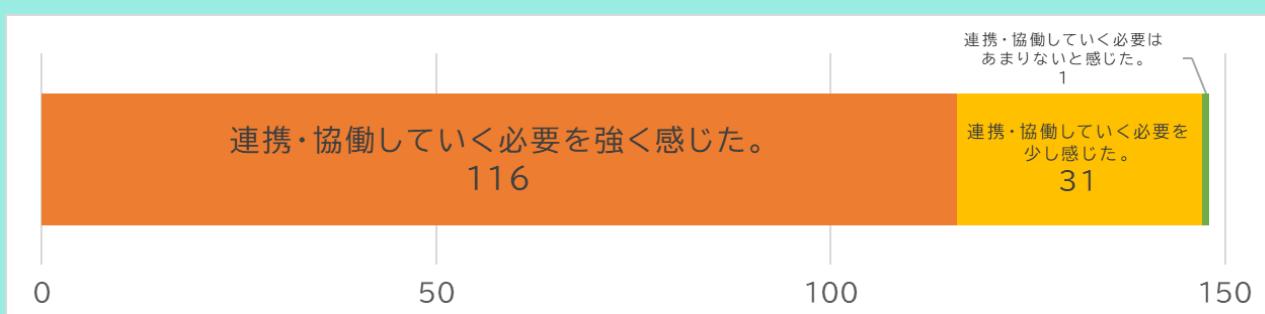
○熟議の過程が勉強になりました。また学校運営協議会委員の選出方法が、学校の教育活動の充実に資する方々が選ばれていて、良い組織が構築されていることが分かりました。さらに、そこに関係する教職員が携わっていることで、協議が実際にあるものに繋がっていくと感じました。 そうした組織づくりを目指していきたいと思いました。

③協議について



○地域の方同士のグループと教職員と地域の方の混合グループ、どちらの協議も貴重な情報をいただき、また先生方の思いや考えを知ることができ、とても有意義な時間でした。
▲違う市町の学校の方と意見の交流をするのは有意義ではありましたが、立場が違ったり、環境が違ったりすると、視点がズレ、話合いがまとまりづらく、協議は難しいと思いました。

③学校と地域の連携・協働について



④自由記述欄(抜粋)

- 他校の取組の発表を聞き運営協議会のイメージがいまいち掴めない部分がありましたが、解消されたように感じます。協議の時間もあり、他校の取組や課題も聞けてより明確にイメージがはっきりしてきたように感じます。
- 教職員との熟議ができる機会を捻出することと、御指導にあったカリキュラムデザイン研修会(特にゲストティーチャーカレンダーブル)を次年度にできるように準備をしていきたい。
- ▲地域性の強いところと弱いところ(新興住宅地など)は必ずある。地域性の強いところばかりが発表を行うと、参考にならざり終わってしまう。 繰り返しを考えるためにには、発表にも二面性が必要である。